


<h3>課題</h3>	<p>京都市内には再建不可の袋路が約6,000本あり、これに面する住戸の空き家化や建物の老朽化が進んでおり、安全性の低下や都市防災上の課題となっている。一方袋路は都心部にあり利便性が高くありながら地代が廉価なこともあり、若年層世帯（とりわけ子育て世帯）が暮らせるアフォーダブル住宅としての可能性がある。袋路の良さを継承し、安全性を確保して住宅の流通性を高め、このミスマッチを解消する事業モデルを構築することが必要。</p>
<h3>目的</h3>	<p>再建不可の袋路内で土地を集約し、地域の課題となっている子育て世帯が安心して居住できる住環境を整備するモデル事業（下京区中堂寺路地再生プロジェクト）を実施するとともに、取組から得られる知見を他の袋路で展開できる仕組み及び体制の検討を行う。</p>
<h3>取組内容</h3>	<ol style="list-style-type: none"> ①下京区中堂寺路地再生プロジェクトの進行 ②袋路内及び周辺に子育て支援サービスを誘致もしくは既存団体との連携 ③継続的に袋路内で同様な土地利用の更新を行うための仕組み・体制の検討と構築 ④市内の他地区等での展開の可能性の検討 ⑤他のテーマでの路地再生プロジェクトの可能性の検討 ⑥広報媒体の作成（中堂寺路地再生プロジェクトサイトの構築・パンフレット「路地カツ写真大集合！」の作成）
<h3>成果</h3>	<ul style="list-style-type: none"> ● 下京区中堂寺路地再生プロジェクトの推進 ● 子育て・子育て環境整備に向けた調査 ● 上京区・下京区の袋路における安全性の確保や居住環境整備のケーススタディ ● 路地の実態調査と子育て・子育て環境や他のテーマ型活用の可能性の検討 ● 広報媒体（web／パンフレット）の作成 

下京区中堂寺路地再生プロジェクトの推進

20数年前の火災により空き地化・空き家化が進む袋路内の土地6区画を集約し、長屋建て住宅4戸を供給する。2方向避難の確保、住宅の防火性能の向上、路地環境の維持などソフト・ハード両面の整備を行う

他路地での展開の検討

- 他の路地で展開するにはどのような体制が必要かを検討
- 子育て・子育て環境以外のテーマの可能性の検討

広報媒体の作成

路地の京都らしい景観や生活が継承し、安全性を確保するには住宅市場を活用することが重要。これを普及するための媒体としてHPとパンフレットを作成

